

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.42

(配信は不定期です。できる限り月1回以上は配信します)

第1部 公取のガソリンの取引に関する調査(概要) No.1 「系列SSは業転購入出来るか？」

HPに日経の記事をまとめました。http://nakazawa-cpa.net

まずは時系列的に列挙します。

- 3月7日 自由民主党に石油流通問題議員連盟が(合併)発足(会長:野田毅衆議院議員)(その後、元売のヒアリング)
- 6月25日 午後 議連役員に対して、公正取引委員会が「未定稿」として「ガソリンの取引に関する調査(概要)」を説明。
- 6月27日 燃料油脂新聞に「業転購入規制『適切ではない』」と記事
- 6月28日 日経1面「公取委、給油所の安値調達容認 店頭価格下落も」
経済面《解説》「取引慣行にメス 石油元売りに是正要求へ」
- 6月29日 日経 経済面「廉価ガソリン「販売認めず」 JXエネ、系列給油所に」

上記は、6月25日の午後に、公取が、「未定稿」として「ガソリンの取引に関する調査(概要)」を説明したことによります。以下、簡単にまとめます。

公取概要のまとめ

- (1) 元売が系列特約店、特に一般特約店にとって相対的に高い仕切り価格を設定し、その仕切り価格の設定に当たり十分な情報開示や交渉が行われていない場合が見られた。
- (2) 元売りは自社が精製したガソリンを商社に販売し、その安価な業転玉としてPBSSに供給されている一方で、系列特約店に対してはその業転玉の購入・販売を制限していることがうかがわれた。
- (3) これらの行為は、取引上優越した立場にある元売が、一般特約店に対し、一方的に不利な取引条件を課している恐れのあるものであり、ガソリンの流通市場における公正な競争環境を整備するという観点からみて適切でないと考えられる。
- (4) まずは、関係者間で適切な関係対応を促す必要があると考えられる。

議連の中間とりまとめ(要旨)

- (1) 問題の本質：供給過剰体制→政策的対応が早急に必要
- (2) SS業界の苦境：系列玉と業転玉の格差拡大と業転玉の流通量の増大が原因。
- (3) 「系列SSの業転玉の購入制限は、取引上、優越した立場にある元売が、一般特約店に対して一方的に競争上不利な取引条件を課しているものであり、ガソリンの流通市場における公正な競争環境を整備するという観点から適切ではない」とするガソリン流通実態調査の概要版を発表した。
- (4) 議連：必要に応じて議員立法も検討
対政府：元売の供給体制の是正と業界全体の構造改革のための政策的対応を強く求める。

燃料油脂新聞 業転購入制限「適切ではない」

日経 6月28日

公正取引委員会はJX日鉱日石エネルギーなど石油元売り8社に対して、系列販売店が商社などから安いガソリンを仕入れることを認めるように求める方針だ。元売りが系列販売店に正規ルート以外のガソリン購入を禁じている取引慣行が独占禁止法に抵触すると判断した。公取は7月にガソリン販売の実態を調査した報告書を公表する。この中で、元売り各社に是正を促す。法的強制力はないものの、是正されなければ行政処分も視野に審査を検討する。

日経 6月29日

JX日鉱日石エネルギーでガソリン販売などを担当する高橋章次取締役は28日、(中略)「仕入れを禁止しているわけではないが、商標を掲げた系列給油所では直接供給のガソリンでなければ販売を認められない」との見解を述べた。

この「業転購入の可否」のみが、クローズアップされていますが、系列内仕入格差問題等でSS経営にとって重要な事項が満載です。

今後の予定 7月中旬 報告書の公表(3連休明け位?)

平成16年に公取が公表した「ガソリン流通実態調査」との比較は非常に重要ですので、8月7日にセミナーを緊急開催することになりました。平成16年の公取の報告書により「週決めの新仕切り」へ移行しましたので、近い内に大きな変化が起こるかもしれません。セミナーで、大きな変化へ対応する準備を開始してください。

第2部 緊急開催8月7日(水) SS経営セミナー「公取の調査報告の解説と勝ち残るSS経営」(案)

- 日時：8月7日(水)
 - 12:30～ 《受付開始》
 - 会場：日本教育会館 702号室
 - 13:30～16:30 《セミナー》
 - 定員：70名
 - 17:30～ 《懇親会》帝国ホテルにて開催
 - 会費：8,000円 懇親会 5,000円
 - 同日午前中に個別相談(一組限定)も検討中です。
 - 講演収録CD販売 8,000円もございます
 - セミナー詳細は次のメルマガで。